

科目 文学国語

嵐位數： 3 嵐位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者：（1組：中尾 和夫） （2組：鶴田 靖浩） （3組 中尾 和夫） （4組 鶴田 靖浩）

使用教科書：（標準 文学國語（第一学習社）

教科 國語

の目標：

【知識及び技能】的確に表現し、理解し、ものの見方や考え方、感じ方を深める態度を育てる。

【思考力、判断力、表現力等】 読み、書き、話し、聞く力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 自ら本を手に取り、読んだり調べたりする読書習慣を身につける。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】 ・文章の内容を目的や課題に応じて読解し、自分考えを理解される表現をすることが出来るようにする。 ・学年に応じた言語、知識を着実に身につける。	【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を理解し、自分の意見を持ち、言葉や文章で表現できるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 ・近代以降のさまざまな文章を読解し、味わうことで、読書への意欲や関心をもたせる。
---	---	--

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	意	配当 時数
			国・語・文・学	算・数・理・科	英・語					
1 学 期	デューク（江國香織） 【思考力、判断力、表現力等】 「少年」との交流による「私」の心理の変化と、デュークの死を受け入れるまでの課程を読み取る。	・細やかな設定や感情表現から、物語世界を身近に感じ取らせる。 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○	○	5
	真珠の耳飾りの少女（原田マハ） 【知識及び技能】 フェルメールの絵画を紹介する文書を読んで、読み手の関心を引きつける為の工夫について考える。	・各まとまりの内容を理解し、纏めさせる。 ・擬人法などの慣用表現をその都度、理解させる。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○	○	9
	定期考査 ナイエン（井上 ひさし） 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間関係性の深淺について考察する。	・作品世界の時間の流れを把握させる。 ・作品の時代背景を理解させる。 ・登場人物の関係性を捉えさせる。 ・一人1台端末の活用	○	○	○	・定期考査 ・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○		1
	相棒（内海隆一郎） 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過と共に登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名に込められた意味を考える。	・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶと共に、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 ・一人1台端末	○	○	○	・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○	○	6
・定期考査						・定期考査	○	○		1
2 学 期	山月記（中島敦） 【思考力、判断力、表現力等】 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 表現の特徴が作品の及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。	・漢文調の文体に触れさせる。 ・主人公の「人間らしさ」を気づかせる。 ・一人1台端末	○	○	○	・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○	○	10
	定期考査 こころ（夏目漱石） 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情を掴む。	・登場人物の心情に触れさせ、人間像を掴ませる。 ・一人1台端末	○	○	○	・定期考査 ・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○		1
	絆 【知識及び技能】 【学びに向かう力、人間性等】 汚れつちまった悲しみに… （中原中也） 「汚れつちまった悲しみ」とは何か考える。	・「汚れつちまった悲しみに…」の内容と韻律を深く味わわせる。 ・永訣の朝の妹と兄である「わたくし」が目指している生き方を捉える。 ・一人1台端末	○		○	・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○	○	12
	永訣の朝（宮沢賢治） 妹が死後どこに行くのか、仏教思想を踏まえて把握する。									
	定期考査					・定期考査	○	○		1
3 学 期	ひよこの眼（山田詠美） 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心情の変化を読み取り、変化の理由を考える。 情報の探し方・ことわざ・文学史	・作品の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握させる。	○	○	○	・プリント提出とその作業内容 ・漢字小テスト ・授業態度	○	○	○	9
	定期考査					・定期考査	○	○		
										合計
										79

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（3学年用）教科

地理歴史

科目

歴史総合

教科： 地理歴史

科目： 歴史総合

単位数： 2

単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 4 組

教科担当者： (1～4 組： 石田 多英)

使用教科書： (山川出版社 歴史総合 わたしたちの歴史 日本から世界へ)

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】

現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開について理解し、情報を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史にかかわる事象の意味や観点を多面的・多角的に考察し、説明したり議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理や歴史にかかわる諸事情について課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の変化にかかわる諸事情について現代的な諸課題の形成に関わる歴史を理解するとともに諸資料から情報を調べまとめる技能を身につける。	歴史の変化に関わる事象を現在とのつながりに着目して、多面的・多角的に考察したり、それを説明・議論したりする力を養う。	歴史の変化に関わる諸事情について課題を主体的に解決しようとする態度を養い、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	徳	配当 時数
【知識・技能】 古代文明について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 人類の発達について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明と人類の発達について主体的に探究、解決しようとしている。 1 学期 定期考査(中間考査)	・人類の起こりと農耕の発達 ・古代文明 ・ギリシア・ローマ世界の発達 ・古代中国王朝 ・イスラーム圏の拡大 ・古代インドと仏教 ・カール大帝とヨーロッパの形成 ・十字軍遠征とモンゴル襲来	【知識・技能】 古代文明について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 人類の発達について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 古代文明と人類の発達について主体的に探究、解決しようとしている。 定期考査(期末考査)	○	○	○	8
【知識・技能】 中世ヨーロッパについて諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 世界三大宗教について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパと世界三大宗教について主体的に探究、解決しようとしている。 定期考査(期末考査)	・中世ヨーロッパについて諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 世界三大宗教について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパと世界三大宗教について主体的に探究、解決しようとしている。	【知識・技能】 中世ヨーロッパについて諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 世界三大宗教について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパと世界三大宗教について主体的に探究、解決しようとしている。	○	○	○	8
【知識・技能】 大航海時代と近代国家形成について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 大西洋革命について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 絵画や建築物から当時の世界情勢について主体的に探究、解決しようとしている。 2 学期 定期考査(中間考査)	・宮廷文化とルネサンス ・大航海時代 ・アメリカの発見と独立 ・フランス革命 ・産業革命	【知識・技能】 大航海時代と近代国家形成について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 大西洋革命について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 絵画や建築物から当時の世界情勢について主体的に探究、解決しようとしている。 定期考査(期末考査)	○	○	○	8
【知識・技能】 列強の帝国主義と日本の歴史について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 大西洋三角貿易と日本の開国について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 列強の帝国主義と現代のアジア・アフリカが抱える課題について主体的に探究、解決しようとしている。 定期考査(期末考査)	・列強の侵略 ・アヘン戦争 ・日本の古代から近世まで ・日本の開国 ・日清戦争 ・日露戦争 ・ヨーロッパのアジア侵略	【知識・技能】 列強の帝国主義と日本の歴史について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 大西洋三角貿易と日本の開国について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 列強の帝国主義と現代のアジア・アフリカが抱える課題について主体的に探究、解決しようとしている。 定期考査(期末考査)	○	○	○	8
【知識・技能】 世界大戦について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 20世紀の国際情勢について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦後の国際関係について主体的に探究、解決しようとしている。 定期考査(学年末考査)	・第一次世界大戦 ・第二次世界大戦 ・冷戦 ・これからの世界	【知識・技能】 世界大戦について諸資料から情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 20世紀の国際情勢について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦後の国際関係について主体的に探究、解決しようとしている。	○	○	○	6
定期考査(学年末考査)			○	○		1
						合計 42

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 公民科 科目 政治・経済

教科：公民科 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～4組

教科担当者：（1組：渡辺克彦）（2組：渡辺克彦）（3組：渡辺克彦）（4組：渡辺克彦）（組： ）（組： ）

使用教科書：（最新政治・経済 ）

教科 公民科 の目標：

【知識及び技能】政治、経済、社会に関わる現代の諸課題について理解し、多面的・多角的に考察する。

【思考力、判断力、表現力等】様々な情報を適切かつ効果的に調べ、思考し公平に判断する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を解決する態度を養い、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を：

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解する。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握する。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 民主政治と法・民主党の基本原則 【知識及び技能】政治、国家、法とは何かを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】政治、国家、法のあり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】主権者として政治のあり方を探究する。	民主政治と法 民主政治の基本原則 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】政治と国家、政府が何であるかを理解している。 【思考・判断・表現】政治とはどのような営みか、自身の身近な事例にも言及しながら考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民主権を担う公民としての自覚をもとに民主政治のあり方や法の意義などについて主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	5
	B 民主政治の仕組みと課題・世界の政治体制 【知識及び技能】国民主権、議会制民主主義、立憲主義、各国の政治体制の違い等について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】民主政治の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】民主主義と立憲主義が対概念であることを踏まえて、民主政治のあり方を探究する。	民主政治のしくみと課題 世界のおもな政治制度 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】民主政治のしくみと課題、各国の政治体制を理解している。権力分立と立憲主義について、その重要性を理解している。 【思考・判断・表現】多数決の長所と短所について自身の身近な事例にも言及しながら協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民主権を担う公民としての自覚をもとに民主政治の課題について主体的に理解・追究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	C 日本国憲法の成立と基本原理 【知識及び技能】ポツダム宣言受諾から日本国憲法の成立までの歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】明治憲法との違いを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】日本国憲法が私たちの生活にどのように活かされているか探究する。	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】日本国憲法の成立過程と三原則を理解している。 【思考・判断・表現】憲法の運用上の課題について考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】日本国憲法の三原則が私たちの人権や政治に果たしている役割について関心を高め、主体的に追及しようとしている。	○	○	○	5
	D 平和主義と日米安全保障体制の変化 【知識及び技能】日本の安全保障政策の展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】日米安全保障の役割の変化について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】こころの安全保障の課題について探究する。	平和主義と自衛隊 日米安全保障の変化 21世紀の平和主義 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】日本国憲法の平和主義の内容と日米安保体制が生まれた背景について理解している。 【思考・判断・表現】「自衛のための必要最小限度の実力はどのように限界づけられるのか」といった課題について多面的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して、学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	E 基本的人権の尊重 【知識及び技能】憲法で保障された基本的人権にはどのようなものがあるか、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】基本的人権の判例について、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】基本的人権の課題の解決策を探究する。	自由に生きる権利 平等に生きる権利 社会権と参政権・請求権 新しい人権 人権の広がりや公共の福祉 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】自由権、平等権、社会権、新しい人権などの諸権利の内容について理解している。 【思考・判断・表現】自由権、平等権、社会権、新しい人権などについて各種判例や自身の身近な事例などと結びつけながら考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】基本的人権の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	F 我が国の統治機構と政党政治 【知識及び技能】三権分立と議院内閣制の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】議院内閣制と政党政治の課題について、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】選挙制度の課題等について主体的に探究し、主権者として望ましい資質を身に付ける。	政治機構と国会 内閣と行政機能の拡大 政党政治 選挙制度 世論と政治参加 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】三権分立のもとで、立法権の役割と意義、議院内閣制の仕組みなどについて理解している。 【思考・判断・表現】政党政治や選挙制度の課題について時事的内容と結びつけながら考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】主権者としての自覚を持ち、社会の有為な形成者としての態度を身に付けている。	○	○	○	7

2 学 期	F 公正な裁判の保障 【知識及び技能】三権分立のもとで司法権の独立、違憲審査権の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】裁判所が人権保障にどのような役割を果たしているか考察する。 【学びに向かう力、人間性等】裁判員制度を理解し、国民の司法参加の意義を探究する。 定期考査	公正な裁判の保障 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解している。 【思考・判断・表現】裁判員制度の意義と課題について協働的に考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】司法制度のあり方や司法参加の意義について主体的に追究して学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	3
	G 地方自治と住民福祉 【知識及び技能】地方自治の本旨とは何か、憲法との関連性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地方財政の現状を認識し、地方自治体が抱える課題を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】将来の人口動態を把握し、これからの地方自治の在り方を意義を探究する。	地方自治と住民福祉 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】地方自治の本旨である、団体自治と住民自治について理解している。 【思考・判断・表現】地方財政の過大を考察し、適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】地方がかかえる課題の概要を理解した上で、人口動態が地方に与える影響や過疎・過密の問題について主体的に追究している。	○	○		1
	H 経済活動と市場の働き 【知識及び技能】経済学の概念や市場メカニズム、政府や企業の役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】需要と供給のメカニズム、各経済主体の関わり等について、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】企業の役割と責任、政府の経済政策等について、主体的に探究する。	経済活動の意義 経済社会の変容 経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得 経済成長と国民の福祉 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】生産・分配・消費、希少性、トレードオフ、機会費用、国民所得、市場の原理、株式会社の仕組みなど経済の基本的な概念について理解している。 【思考・判断・表現】経済学の概念を使って、現代の経済問題に対する基本的な考え方を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】資本主義経済と社会主義の相違を理解し、現代の日本経済が抱える諸課題について、意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	I 金融・財政の役割 【知識及び技能】中央銀行の金融政策、各種金融機関の役割、租税の意義と目的について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】政府や中央銀行の景気対策について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】金融商品に関心を持ち、社会生活に活かそうとする。また、租税の負担の在り方について、主体的に探究する。	金融の役割 日本銀行の役割 財政の役割と租税 日本の財政の課題 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】金融市場の仕組みと金利の動き、銀行など各種金融機関の役割、中央銀行の役割や金融政策の目的と手段について理解させる。租税を中心とした公的負担の意義と必要性を理解している。 【思考・判断・表現】景気のそれぞれの局面に対処するため日本銀行がどのような政策をとっているか、企業との関係も含めて多面的・多角的に考察したりしたことを論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】金融商品についての関心を高めており、無理のない資金運用を心がけようとするなど学習したことを社会生活に生かそうとしている。公平な税負担について、主体的に考えを導き出そうとしている。	○	○	○	5
	J 消費者の権利と労働問題・社会保障 【知識及び技能】契約の概念、労働者の権利、社会保障制度の意義と役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】消費者問題、労働問題、社会保障について、憲法で学習した社会権との関連を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】学習したことが実生活でどのように役立たせることができるか、主体的に探究する。 定期考査	消費者問題 労働問題と労働者の権利 こんにちの労働問題 社会保障の役割と課題 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】成人年齢引き下げに伴う、契約の意義について消費者問題との関連で理解している。また、労働三権の内容やこんにちの労働問題について理解している。我が国の社会保障が抱える課題と望ましい保障の在り方を理解している。 【思考・判断・表現】消費者・労働者の権利の内容を考察し、社会保障に関する政府の方針を踏まえた上で、こんにちの日本社会が抱える課題を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】学習で学んだことを社会生活で活かそうとしている。	○	○	○	5
3 学 期	K 現代の国際政治 【知識及び技能】国際社会が抱える問題、国際法と国内法の違い、国際機関の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人権問題や途上国の課題などについて、主体的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】よりよい国際社会の在り方を追究し、国際問題を主体的に探究する。	国際社会と国際法 国際社会の変化 国際連合と国際協力 こんにちの国際政治 人権・民族問題 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】国際社会の変遷、国際法の意義、我が国を取り巻く国際情勢について理解している。 【思考・判断・表現】人権、民族、難民などの問題について、国際機関や民間NGOの活動を理解し、どのような援助が望ましいか考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】国際問題に関心を持ち、他者との意見調整などに活かそうとしている。	○	○	○	5
	L 現代の国際経済 【知識及び技能】外国為替の仕組みや変動要因を理解する。現代の国際経済における諸課題を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】為替が生活にどのような影響を与えているのか考察する。国際貿易の在り方について、比較生産費説を用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】グローバル化に伴う国際社会の様々な課題について、主体的に探究する。 定期考査	貿易と国際収支 外国為替市場のしくみ 国際経済の動向 国際協力と日本の役割 教科書・補助教材・端末等	【知識・技能】円高・円安など為替レートの意味と私たちの生活に与える影響について理解する。また、自由貿易の意義や多国籍企業の展開とグローバル化について理解している。 【思考・判断・表現】外国為替の変動要因を考察する。自由貿易が世界の発展に寄与するのか、多国籍企業の活動が私たちの生活に与える影響について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】よりよい社会の実現のために国際社会の諸課題を主体的に追究し、多面的・多角的な考察を通して、意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	5
				○	○		合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

数学

科目 数学Ⅱ基礎

教科：数学

科目：数学Ⅱ基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～4組

教科担当：（1組：黒川・馬場）（2組：黒川・馬場）（3組：黒川・馬場）（4組：黒川・濱田）（組： ）（組： ）

使用教科書：（実教出版 高校数学Ⅱ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的にとらえ、論理的に考えるときにも思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識する。

科目 数学Ⅱ基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、知識を身に付ける。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決する。	数学的活動を通して数学的な見方や考え方の良さを認識する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・微分係数の図形的意味を理解している。 ・微分係数と導関数の関係を理解し、接線の方程式を求めることができる。	微分係数	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解できる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象における瞬間の速さや接線の傾きなどと関連付けて考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分係数や導関数に関心をもち、実際の計算に活用しようとしている。	○	○	○	5
	・微分係数の意味を理解し接線の方程式を求める公式を理解している。 ・微分係数と導関数の関係を理解し、接線の方程式を求めることができる。	導関数の計算	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解できる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象における瞬間の速さや接線の傾きなどと関連付けて考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分係数や導関数に関心をもち、実際の計算に活用しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・関数の値の変化を極限を用いて調べることができる。 ・微分係数の図形的な意味を理解できる。	導関数の応用	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解できる。 【思考・判断・表現】 関数とその導関数との関係を考察し、多項式関数（ $f(x)$ ）の増加、減少及び極値を調べ、そのグラフの概形を書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 導関数の有用性を認識できるように取り組んでいる。	○	○	○	7
	・関数の値の変化を極限を用いて調べることができる。 ・微分係数の図形的な意味を理解できる。	導関数の応用	【知識・技能】 グラフの概形をかく方法を理解できる。 【思考・判断・表現】 関数とその導関数との関係を考察し、多項式関数（ $f(x)$ ）の増加、減少及び極値を調べ、そのグラフの概形を書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 導関数の有用性を認識できるように取り組んでいる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学期	・不定積分の考えを図形の計量に活用できることを理解できる。 ・不定積分とグラフの関係を理解している。	不定積分	【知識・技能】 不定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分の値を求める。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関わりに着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分と積分の関わりに着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。	○	○	○	7
	・積分の考えが図形の計量に活用できることを理解できる。 ・定積分と面積の関係をを用いて、関数で囲まれた図形の面積を求めることができる。	定積分	【知識・技能】 定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関わりに着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分と積分の関わりに着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	・積分の考えが図形の計量に活用できることを理解できる。 ・定積分と面積の関係をを用いて、関数で囲まれた図形の面積を求めることができる。	定積分	【知識・技能】 定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関わりに着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分と積分の関わりに着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。	○	○	○	7
	・定積分と面積の関係をを用いて、関数で囲まれた図形の面積を求めることができる。	面積	【知識・技能】 定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関わりに着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分と積分の関わりに着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。	○	○	○	7

	定期考査			○	○		1
3 学 期	・ 2つの関数で囲まれた図形の面積を求めることができる。 ・ 定積分と面積の関係をを用いて、関数で囲まれた図形の面積を求めることができる	いろいろな図形の面積	【知識・技能】 定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分と積分の関係に着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。				7
	・ 2つの関数で囲まれた図形の面積を求めることができる。 ・ 定積分と面積の関係をを用いて、関数で囲まれた図形の面積を求めることができる	いろいろな図形の面積	【知識・技能】 定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微分と積分の関係に着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察している。				6
							合計 70

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科(化学) 科目 化学基礎

教科: 理科(化学) 科目: 化学基礎

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組・2 組

教科担当者: (野田)

使用教科書: (化学基礎 academia (実教出版))

教科 理科(化学)

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や設備などの技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し表現するなど、科学的に探究している。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

科目 化学基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学と物質についての日常生活や農業や工業などの産業を通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作などを身に付けている。	・化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	序章 化学と人間生活 【知識及び技能】 物質がどのように人間生活に関わっているか。 【思考力、判断力、表現力等】 今後の人間生活と化学との関わりを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学に関連している物質が、人間生活のどの場面で関連しているか。	・様々な物質とそれらの利用 ・化学の特徴 ・セントラルサイエンスとしての化学	【知識及び技能】 中学校で学習した内容と関連づけ、知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 人間生活の向上と化学の果たす役割について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な化学に関することに関心を持ち、それを知ろうとする意欲を持っている。	○	○	○	6
	1章 物質の構成 物質の探求 【知識及び技能】 分離の方法を適切に用いて混合物を分離することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物質を分離する操作がどのようなものであるか。 【学びに向かう力、人間性等】 身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ 定期考査(中間考査)	・物質の分離と精製 ・物質と元素 ・物質の三態と熱運動	【知識・技能】 物質に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 純物質と混合物、単体と化合物の共通点と相違点を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。	○	○	○	6
				○	○		1
	1章 物質の構成 物質の構成粒子 【知識及び技能】 原子の構造や電子配置とイオンの関係 【思考力、判断力、表現力等】 電子の状態が物質の性質に大きく関係することを推論できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・原子の構造 ・イオンの生成 ・周期表	【知識・技能】 原子の構成粒子について理解している。 【思考・判断・表現】 ・どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・同じ元素でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつ。	○	○	○	6
	2章 物質と化学結合 イオン結合・共有結合 【知識及び技能】 代表的な物質から物質を構成粒子とする結合の違いを知る 【思考力、判断力、表現力等】 物質の性質は、結合の違いによって異なる 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質について、結合の違いで区別してみようと考え 定期考査(期末考査)	・イオン間の結合とイオン結晶 ・共有結合と分子間力 ・分子間力と分子結晶 ・電気陰性度と分子の極性	【知識・技能】 イオン結合と共有結合について理解できる 【思考・判断・表現】 原子間の結合を考えることによって結晶の特徴をある程度予想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身のまわりにあるイオン結晶や分子結晶に興味をもつ。	○	○	○	6
				○	○		1
	2章 物質と化学結合 共有結合からなる物質・金属結合 【知識及び技能】 代表的な物質から物質を構成粒子とする結合の違いを知る 【思考力、判断力、表現力等】 物質の性質は、結合の違いによって異なる 【学びに向かう力、人間性等】 身近な物質について、結合の違いで区	・無機物質と有機化合物 ・共有結合の結晶 ・金属結合と金属結晶	【知識・技能】 分子結晶と共有結合の結晶の区別と金属結合について理解できる 【思考・判断・表現】 原子間の結合を考えることによって結晶の特徴をある程度予想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ダイヤモンドや岩石、半導体、金属などに興味をもつ。	○	○	○	6

2 学 期	3章 物質の変化 原子量と分子量・式量 物質質量 【知識及び技能】 相対質量から原子量、分子量などに 至る過程の知識 【思考力・判断力・表現力等】 原子量・分子量・式量および物質質 量を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 物質質量について	・原子の相対質量と原子量 ・分子量・式量 ・物質質量とアボガドロ定数	【知識・技能】 実際の物質の量を物質質量で表せる。 【思考・判断・表現】 molの扱いに慣れ、粒子の数・質量と物質 量に関する簡単な計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質質量の概念について興味をもつ。	○	○	○	6
	定期考査（中間考査）			○	○		1
3 学 期	3章 物質の変化 溶液の濃度、化学反応式 【知識及び技能】 濃度の求め方、化学変化の量的関係 【思考力・判断力・表現力等】 学反応式の係数から、物質の量的変 化をとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 化学反応式をもとに量的な関係をつ かむことができる	・質量パーセント濃度とモル濃度 ・化学反応式 ・化学変化の量的関係	【知識・技能】 濃度の求め方や化学反応式を用いて量的な計 算を行うことができる。 【思考・判断・表現】 物質質量を用いた基本的な計算ができ、化学変 化には一定の量的関係があることが考えられ る。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質質量及び化学反応式を理解し、物質質量を用 いた濃度や量的関係の基本的な計算に関心を 持つ。	○	○	○	10
	3章 物質の変化 酸と塩基 【知識及び技能】 酸・塩基および中和反応 【思考力・判断力・表現力等】 中和滴定 【学びに向かう力、人間性等】 酸や塩基についての関心。	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応と塩の生成 ・中和滴定	【知識・技能】 酸・塩基の定義を理解し、さらに中和滴定の量 的関係を理解している。 【思考・判断・表現】 酸・塩基の強弱とpHの観察、中和滴定の実験 などを通し、科学的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な物質のpHを測定して考察するなど、 意欲的に探究しようとする。				8
	定期考査（期末考査）						1
3 学 期	3章 物質の変化 酸化還元反応 【知識及び技能】 酸化と還元 【思考力・判断力・表現力等】 電子のやりとりによる酸化還元 【学びに向かう力、人間性等】 酸化と還元は同時に起こる反応	・酸化と還元 ・酸化剤と還元剤 ・酸化還元反応の起こりやすさ ・身のまわりの酸化還元反応	【知識・技能】 酸化還元反応の量的関係を計算により求める ことができる。 【思考・判断・表現】 酸化還元反応における酸化剤と還元剤のはた らきを電子の授受に着目して考えることがで きる。 【主体的に学習に取り組む態度】 代表的な酸化剤、還元剤の反応について、電 子の授受としての規則性を見出し、説明する ことができる。	○	○	○	8
	終章 化学が拓く世界 【知識及び技能】 環境問題の原因および解決と化学の つながり 【思考力・判断力・表現力等】 暮らしを支える技術と化学の結びつ き 【学びに向かう力、人間性等】 科学技術と生態系のかかわり	・生活を支える科学技術と化学 ・日常生活を支える科学技術	【知識・技能】 化学基礎で学習した内容と環境問題との結び つきについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・人々の暮らしを支える技術と化学の結びつ きについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系に与える人間生活の影響について関心 をもっている。	○	○	○	3
	定期考査（学年末考査）			○	○		1
							合計
							70

高等学校 令和 6 年度（3 学年用）教科 理科（生物） 科目 生物基礎

教科：理科（生物） 科目：生物基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 2 組

教科担当者：（3組：植松敏夫）（4組：植松敏夫）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（啓林館 i 版 生物基礎（生基706））

教科 理科（生物） の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象に理解を深め、科学的に探究するために必要な資質・能力を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 観察・実験などを行い、科学的に探究し、得られた結果を分析し解釈して発表できる

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録のしかたなどの基本的な技能を身につける	生物や生物現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究することができる。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1章 生物の特徴 A 生物の多様性 【知識及び技能】 生物の系統上の類縁関係について 【思考力、判断力、表現力等】 系統樹と生物の共通性の由来 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生物の存在について	・顕微鏡の操作方法 ・オオカナダモ、インクラゲ ・一人1台端末の使用法について	【知識及び技能】 生物の系統上の類縁関係がわかる 【思考力、判断力、表現力等】 生物群が共通の先祖に由来すると考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生物に関心を持ち、それを知ろうとする意欲を持っている	○	○	○	6
B 細胞と個体の成り立ち 【知識及び技能】 単細胞生物と多細胞生物 【思考力、判断力、表現力等】 オルガネラと組織、器官の発達 【学びに向かう力、人間性等】 ミトコンドリアと葉緑体の共通性から細胞共生説へ	・多細胞生物の細胞分化 ・ミトコンドリアと葉緑体の起源 ・一人1台端末を用いて、Teamsの課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 細胞小器官のはたらきを理解する 【思考・判断・表現】 原核細胞と真核細胞の共通点と相違点を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ミトコンドリアと葉緑体の起源について考えることができる	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
C 生命活動とエネルギー 【知識及び技能】 エネルギーの通貨としてのATP 【思考力、判断力、表現力等】 代謝におけるエネルギーについて 【学びに向かう力、人間性等】 酵素の実験からわかること	・真核細胞の構造とオルガネラ ・豚レバーを用いたカタラーゼの実験 ・一人1台端末を用いて、Teamsの課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 ATPの果たす役割について理解できる 【思考・判断・表現】 代謝におけるエネルギーについて考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 実験から酵素の性質についてまとめることができる	○	○	○	6
D 生体内の化学反応 【知識及び技能】 同化と異化の違い 【思考力、判断力、表現力等】 光合成と呼吸 【学びに向かう力、人間性等】 呼吸と光合成の起源について	・呼吸と光合成におけるATPの生成 ・eDxのATP合成酵素の構造とはたらきについての動画 ・一人1台端末を用いて、Teamsの課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 呼吸と光合成について理解できる 【思考・判断・表現】 呼吸と光合成でATP合成酵素の動きが同じであることについて考える 【主体的に学習に取り組む態度】 ATP合成酵素を例に呼吸と光合成の起源について考える	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
2章 遺伝子とその働き A 生物と遺伝情報 【知識及び技能】 DNAの構造と複製 【思考力、判断力、表現力等】 転写と翻訳 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子のしくみを理解する	・DNAの構造と半保存的複製の意味 ・細胞周期とDNAの分配 ・転写と翻訳 ・コドン表について ・一人1台端末を用いて、Teamsの課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 DNAの構造と遺伝子としての関連性を理解できる 【思考・判断・表現】 DNAの塩基配列と遺伝子としての関連性について考える 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子が親から子へと伝えられる因子であること、DNAの特徴について関心を持ち考えようとする。	○	○	○	6

2 学 期	B 遺伝子の発現と維持 【知識及び技能】 遺伝子の調節について 【思考力、判断力、表現力等】 細胞分化 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子と最新の医療	・細胞分化と遺伝子について ・だ腺染色体の観察 ・バフ ・一人1台端末を用いて、Teamsの 課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 遺伝情報のほとんどの細胞で維持されている が、遺伝子の発現は調節されていることがわか る。 【思考・判断・表現】 個体を構成する細胞は遺伝的に同一で、部位に よって発現する遺伝子が異なると考えることが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報をゲノムととらえることに興味を持 つ。ゲノム医療など最新の医学的課題にも関心 を持つ	○	○	○	6
	定期考查			○	○		1
	3章 神経系と内分泌系による調節 A 恒常性と体液 【知識及び技能】 体内環境が一定に保たれていること 【思考力、判断力、表現力等】 体液が体内環境であること 【学びに向かう力、人間性等】 脳死と植物状態について	・体内環境と体液 ・血液凝固と線溶 ・自律神経系と脳死 ・一人1台端末を用いて、Teamsの 課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 体内環境とは体液の環境であり、体内環境が 一定に保たれていること、つまり恒常性が重要 である。体液（血液・リンパ液・組織液）の 成分や働き、循環系を理解する。 【思考・判断・表現】 生物の体内環境が一定に保たれていると考える ことができ、循環系と体液の働き（酸素解離 や血液凝固など）を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体内環境の恒常性に関心を持ち、体液の成 分、体液の働き、循環に興味を持つ。	○	○	○	6
	B ホルモンによる調節 【知識及び技能】 さまざまなホルモン 【思考力、判断力、表現力等】 心拍数の調節や血糖濃度の調節 【学びに向かう力、人間性等】 糖尿病と日常生活	・ホルモン ・自律神経系と内分泌系の協働 ・糖尿病 ・肝臓と腎臓のはたらき ・一人1台端末を用いて、Teamsの 課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 特定の内分泌腺からは特定のホルモンが分泌 され、血液で運ばれてきた細胞に働く。ホ ルモン量はフィードバック調節されている。 【思考・判断・表現】 ホルモンにより器官の活動が調節されており、 その量はフィードバック調節されている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自律神経とホルモンが共同して恒常性を維持し ていることに興味を持つ。	○	○	○	6
	4章 免疫 A 生体防御の概要 【知識及び技能】 自然免疫と獲得免疫 【思考力、判断力、表現力等】 食作用の観察 【学びに向かう力、人間性等】 予防接種と新型コロナウイルス	・自然免疫と獲得免疫 ・食細胞 ・免疫寛容 ・細胞性免疫 ・体液性免疫 ・免疫記憶 ・予防接種 ・RNAワクチン ・一人1台端末を用いて、Teamsの 課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 生体防御には異物に対する防御と自然免疫、獲 得免疫があることを理解する。 【思考・判断・表現】 自然免疫を獲得免疫と対比させて考えること ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 予防接種や感染症との関連も含めて、免疫に 関する話題に興味を持つ。				6
	定期考查						1
3 学 期	5章 植生と遷移 【知識及び技能】 環境と生物 【思考力、判断力、表現力等】 環境と植生の移り変わり 【学びに向かう力、人間性等】 世界のバイオームへの関心	・生物的環境と非生物的環境 ・環境形成作用 ・光合成と環境要因 ・階層構造 ・遷移 ・ギャップ ・一人1台端末を用いて、Teamsの 課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 植物の形態に環境への適応が現れる例があ り、光要因も大きな要因のひとつであること が分かる。 【思考・判断・表現】 植物の生活形に影響する環境要因には主に水・ 土壌・温度・光がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の生活に影響を及ぼす環境要因を考察する 意欲を持つ。	○	○	○	6

3 学 期	6章 生態系の保全 【知識及び技能】 生態系における生物の役割 【思考力、判断力、表現力等】 生態ピラミッド 【学びに向かう力、人間性等】 生態系の成り立ちがわかる	・生態系 ・キーストーン種 ・かく乱 ・絶滅危惧種 ・環境アセスメント ・一人1台端末を用いて、Teamsの 課題機能で授業の振り返り	【知識・技能】 生態系を食物連鎖の関係で把握することができ、それぞれの量的関係を理解できる。 【思考・判断・表現】 生態系の成り立ちと構成要素について具体的な生物をあげて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系に与える人間生活の影響について関心	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
合計							
70							

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 理科 科目 理科演習（学校設定科目）

教科：理科 科目：理科演習（学校設定科目） 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～4組（自由選択科目）

教科担当者：（植松）

使用教科書：（東書生物701、実教化基703化学基礎、啓林生基706；版生物基礎）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】主に生物を中心とした、自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的な見方や考えかたを育てる。

【思考力、判断力、表現力等】見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探究する能力と態度を育てる

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

科目 理科演習（学校設定科目） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物および化学分野における基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、生物分野の特性と特質を理解させるとともに、農業を初めとしてさまざまな分野で応用する能力と態度を育てる。	生物あるいは化学分野において、見通しをもって実験・観察をし、得られた結果から科学的に思考しそれを発表する力を養う。	生物および化学に関する理解を深め、科学的な自然観と自然に対する畏敬の念をもって接する人間性を育てる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ガイダンス 講義・実習の準備	・授業内容の説明・科目の理解 授業計画の周知	【知識・技能】 小テスト・ワークシート				
	化学分野の基礎演習	・問題演習における自学自習の大切さ ・実験における安全指導	【思考・判断・表現】 ノート、ワークシート等成果物 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性や発言等を総合的に判断し数値化	○	○	○	5
	化学分野の問題演習	・問題演習 ・原子、分子、分子式 ・原子量、分子量、式量	【知識・技能】 小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 ノート、ワークシート等成果物 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性や発言等を総合的に判断し数値化	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	生物の概要 講義と問題演習 実験と観察	・問題演習 ・生体内のエネルギー変換 ・遺伝子としてのDNA	【知識・技能】 小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 ノート、ワークシート等成果物 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性や発言等を総合的に判断し数値化	○	○	○	8
		・生物 ・細胞膜 ・浸透圧 ・細胞骨格 ・呼吸と光合成	【知識・技能】 小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 ノート、ワークシート等成果物 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性や発言等を総合的に判断し数値化	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期		・実習・実験 ・酵素 ・発酵	【知識・技能】 小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 ノート、ワークシート等成果物 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性や発言等を総合的に判断し数値化	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
		・生物の進化 ・動物の発生 ・植物の発生 ・ウニの発生 ・問題演習 ・遺伝子の発現と発生		○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期		・生物 ・動物の行動 ・個体群と環境 ・個体間の相互作用 ・生物群集 ・生物多様性 ・問題演習 ・生態系の物質収支 ・生態系の多様性	【知識・技能】 小テスト・ワークシート 【思考・判断・表現】 ノート、ワークシート等成果物 【主体的に学習に取り組む態度】 積極性や発言等を総合的に判断し数値化	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計 70

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～ 組

教科担当者：（1組：佐藤 阿部 黒井）（2組：佐藤 阿部 黒井）（3組：佐藤 黒井 渡部）（4組：佐藤 黒井 渡部）

使用教科書：（現代保健体育）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
体の動かし方や用具の操作方法などの具体的な知識と、運動を通して各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを深く味わ得るようにする。	多くの運動の中から、自らに適した領域を選択し、卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わるようにするために、「する、みる、支える、知る」の視点から自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的に解決したり、新たな課題の発見につなげたりすることができるようになる。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとする、することができるようになる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 運動を行うための体力を高める方法を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることを学習する。 【学びに向かう力、人間性等】	・オリエンテーション ・体ほぐし運動 ・体力を高める運動	【知識・技能】 体力の構成要素として筋力・瞬発力・持久力・調整力・柔軟性があり、それらを理解している。 【思考・判断・表現】 仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	4
	C 選択種目（前期種目選択） 【知識及び技能】 各種の基本の動作、技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン ・バレーボール ・サッカー ・ハンドボール ・卓球 上記から1種目選択	【知識・技能】 ・各種目：基本技能 審判法 【思考・判断・表現】 ・各グループごとに練習計画をたてる。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査	なし	なし				
	C 選択種目 【知識及び技能】 各種の基本の動作、技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン ・バレーボール ・サッカー ・ハンドボール ・卓球 上記から1種目選択	【知識・技能】 ・各種目：基本技能 審判法 【思考・判断・表現】 ・各グループごとに練習計画をたてる。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	18
2 学期	C 選択種目（前期種目選択） 【知識及び技能】 各種の基本の動作、技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン ・バレーボール ・サッカー ・ハンドボール ・卓球 上記から1種目選択	【知識・技能】 ・各種目：基本技能 審判法 【思考・判断・表現】 ・各グループごとに練習計画をたてる。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	8
	C 選択種目（後期種目選択） 【知識及び技能】 各種の基本の動作、技ができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとする ことを学習する。	・ソフトボール ・テニス ・バドミントン ・バスケットボール ・サッカー ・ハンドボール ・卓球 上記から1種目選択	【知識・技能】 ・各種目：基本技能 審判法 【思考・判断・表現】 ・各グループごとに練習計画をたてる。 ・ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でよりよいマナーや行為、行動ができるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自主的に取り組もうとする。	○	○	○	18

農産高等学校令和6年度(3 学年用) 教科 家庭

科目 家庭総合

教科: 家庭 科目: 家庭総合
 対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 4 組
 教科担当者: 1 組～4 組: 成田 清水
 使用教科書: (実教出版 家庭総合)
 教科 家庭

単位数: 2 単位

の目標:

- 【知識及び技能】生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	B 高齢者とかかわる 【知識及び技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けること。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について考察し、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践できるようになる。	・指導事項 ・高齢者について考える ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・スライド ・教材 車いす 高齢者体験キッド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深め、高齢者の心身の状況に応じて適切に関わるための生活支援に関する技能を身に付けている。 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題及び高齢者福祉について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	B 社会とかかわる 【知識及び技能】 ・社会的制度、社会福祉の基本理念、ともに支えあつた生きる社会の考え方について理解を深める。【思考力、判断力、表現力等】 ・社会の一員として具体的に何ができるかについて考えを深める。バリアフリーやユニバーサル・デザインなどの観点から工夫することができ、実用的なデザインを表現できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域で実際に行われている取り組みなどの具体的な事例を調査し、実際に地域の活動に参加することができるようになる。	・指導事項 ・共生社会について ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・スライド ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・社会的制度、社会福祉の基本理念、ともに支えあつた生きる社会の考え方についてわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・社会の一員として具体的に何ができるかについて考えることができた。バリアフリーやユニバーサル・デザインなどの観点から工夫することができ、実用的なデザインを表現することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域で実際に行われている取り組みなどの具体的な活動内容や意義について理解を深めている。できることから行動している。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 栄養素の機能と代謝、各ライフステージにおける栄養、労働・スポーツと栄養などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】食生活の現状から栄養に関する課題を発見し、栄養面で健康の保持増進を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】栄養状態の改善の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 ・食生活について考える ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・スライド ・教材 フラッシュカード 食材 ・一人1台端末の活用 等 ・調理実習	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、主体的に持続可能な食生活を営むために自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技術を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、生活と環境の関わりを踏まえて目的に応じた調理に必要な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について持続可能な社会を目指す観点から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて、論理的に表現するなどして、自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて、食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	18
	B 人生をつくる 【知識及び技能】 家族・家庭と社会の関わりや家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族を築くことの重要性について問題を解決する力を身に付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保育・福祉について課題の解決に主体的に取り組むことができる。	・指導事項 ・家庭・家族について考える ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・スライド ・教材 フラッシュカード ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・家族・家庭と社会の関わりについて理解を深めている。 ・家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし、家族を築くことの重要性について問題を見いだして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子どもとの関わりと保険・福祉について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 住生活と文化、住空間の構成と計画 インテリアデザインなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 快適な住空間の計画やインテリアデザインに関する課題を発見し、豊かな住生活の実現を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな住生活の実現を目指して自ら学び、住空間のデザインに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	・指導事項 ・持続可能な住まいづくりを考える ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・スライド ・教材 フラッシュカード ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住生活の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・住居の機能性や快適性、住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○		10
	定期考査			○	○		1

合計	65
----	----

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科		外国語	科目	論理・表現Ⅰ
教科：外国語	科目：論理・表現Ⅰ	単位数：	2	単位
対象学年組：第 3 学年 1 組～ 4 組				
教科担当者：（ 山中 ）				
使用教科書：（ Vision Quest English Logic and Expression I Standard ）				
教科 外国語	の目標：			

【思考力、判断力、表現力等】場面や状況などに応じて、英語で情報や話し手や書き手の意図を的確に理解したり、活用して表現したり伝え合ったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】・英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する。 ・外国語の技能（話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。	・場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする。 ・聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現する。	・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

[illegible]

高等学校 令和6年度（3学年用）教科 農業 科目 栽培と環境

教科：農業 科目：栽培と環境 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～2組

教科担当者：（1組：高橋）（1組：岡田）（2組：上野）（2組：岡田）

使用教科書：（実教出版『栽培と環境』『野菜』『果樹』）

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業に関する知識と技術を習得させる

【思考力、判断力、表現力等】農業の特性とその特質を理解させる。

【学びに向かう力、人間性等】農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

科目 栽培と環境 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栽培植物のプロジェク学習の過程における調査、観察、診断、実験などを通して、生育と環境要素との関係に関する知識と技術、栽培環境の管理と改善に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解している。	栽培植物の生育と環境要素の実験や診断を通して、栽培環境に関する課題を発見し、環境に配慮した栽培管理と法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養っている。	栽培と環境の学習を通して、環境に負荷をかけない栽培技術や、安全で安心できる栽培植物の生産や環境の保全を目指して、自分の意思や判断に基づき、主体的かつ協働的にとり組む態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A モモの栽培管理 【知識及び技能】 基本的な専門用語を理解する。モモの特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 モモの摘花や袋掛けの目的を理解し、実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・モモの生育について 摘果、袋掛け ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい作物を育てるためには適する環境や管理が必要であるということを理解している。 【思考・判断・表現】 作物の種類と特徴や発育・生理作用をふまえ、作物に応じた栽培技術に関して意見を述べられる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	B 果菜類（ナス・メロン）の栽培管理 【知識及び技能】 基本的な専門用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 果菜類の栽培方法を理解し、的確に管理できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 果菜類の栽培管理 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい作物を育てるためには適する環境や管理が必要であるということを理解している。 【思考・判断・表現】 作物の種類と特徴や発育・生理作用をふまえ、作物に応じた栽培技術に関して意見を述べられる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 施設型農業の栽培環境 【知識及び技能】 ・園芸施設の種類と特性を理解し、露地栽培との栽培環境の違いを説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境制御のための設備と資材について理解し、栽培環境と関連づけてまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 施設型農業による環境制御に関心をもち、作物の特性を生かした管理や経営の方法について探究している。	・指導事項 施設栽培と環境制御 ・教材 教科書、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 園芸施設の特徴および露地栽培との違いを知識として習得し、作物に適した環境づくりをしていることを理解している。 【思考・判断・表現】 施設型農業経営の利点と課題を整理しまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 栽培したい作物に適する栽培環境について理解し、自校での栽培における問題点を把握し、施設型農業により、それを解決する意欲・態度を身につけている。	○	○	○	10
	D ブドウ・キウイフルーツの栽培管理 【知識及び技能】 基本的な専門用語を理解する。キウイフルーツやブドウの特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各作目の管理の目的を理解し、実定期検査	・指導事項 摘枝、誘引、受粉と結実 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい作物を育てるためには適する環境や管理が必要であるということを理解している。 【思考・判断・表現】 作物の種類と特徴や発育・生理作用をふまえ、作物に応じた栽培技術に関して意見を述べられる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
2 学 期	E ハクサイ、ブロッコリー、ネギの栽培管理 【知識及び技能】 基本的な専門用語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 果菜類の栽培方法を理解し、的確に管理できる。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 各作目の栽培管理 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい作物を育てるためには適する環境や管理が必要であるということを理解している。 【思考・判断・表現】 作物の種類と特徴や発育・生理作用をふまえ、作物に応じた栽培技術に関して意見を述べられる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	F 栽培環境—生物的要害 【知識及び技能】 害虫の定義を理解し、それぞれの種類に応じた生態や被害の特徴、その対策について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作物病害について病気が起こるしくみや伝染のしかたを理解し、防	・指導事項 農業 IPM 生物多様性 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 害虫の生態を理解し、効果的な防除法を選択することができる。 病原体の種類について整理しまとめることで、関連づけた防除法を理解している。 【思考・判断・表現】 農地には作物以外にもさまざまな生物が生活していることを理解しているとともに、生物的	○	○	○	10
	G ブドウ・キウイフルーツの栽培管理 【知識及び技能】 基本的な専門用語を理解する。キウイフルーツやブドウの特性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各作目の管理の目的を理解し、実行できる。 【学びに向かう力、人間性等】 安全に留意しながら実習を行うことができる 定期検査	・指導事項 収穫、調整、追熟、せん定 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 よりよい作物を育てるためには適する環境や管理が必要であるということを理解している。 【思考・判断・表現】 作物の種類と特徴や発育・生理作用をふまえ、作物に応じた栽培技術に関して意見を述べられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 作物の発育・生理について興味・関心をもち、特性に応じた栽培技術について探究しようとしている。	○	○	○	8
				○	○		1

3 学 期	H環境に配慮した栽培の実践 【知識及び技能】 ・農業が環境に与える影響について学び、環境面をふまえた農業の多面的機能について説明することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境に配慮した作物栽培について、自分の考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域に応じた環境に配慮した栽培を実践することができる。 定期考査	・指導事項 環境に配慮した栽培 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 農業が環境に与える影響とともに農業がもつ多面的機能を知識として習得し、環境に配慮した作物栽培がされていることを理解している。 【思考・判断・表現】 環境に配慮した栽培の実践例から背景、目的、成果を理解し、環境に配慮した栽培にとり組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習を振り返り、農業の環境に与える影響をふまえ、環境に配慮した栽培を実践するための意欲・態度を身につけている。	○	○	○	9
				○	○		1

高等学校 令和6年度（3 学年用） 教科

農業

科目 栽培と環境（野菜分野）

教科： 農業

科目：

栽培と環境（野菜分野）

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～

2 組

教科担当者：（ 1 組： 高橋 ） （ 2 組： 上野 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： 野菜（実教出版）

教科 農業

の目標：

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 栽培と環境（野菜分野）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	野菜に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わるものとして、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ウリ科・イネ科・ナス科・サトイモ科の栽培 キュウリ・トウモロコシ・ピーマン・ナス（4 種） 【知識及び技能】 育苗を正しく行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 温床栽培の目的、理由を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培方法（仕立て方） 生産目的のための支柱の立て方について 【知識及び技能】 支柱の組み上げ方を正しく行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 誘引・摘芯について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 販売目的の栽培への興味関心を高める。	・指導事項 栽培管理、繁殖と育苗 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 栽培管理、鉢上げ、栽培上の特性を理解している。 【思考・判断・表現】 育苗を行う目的、理由を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜を学ぶことに興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	4
	ナス（千両2号・庄屋大長・くろわし・寺島） 【知識及び技能】 ナスについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ナスの仕立て方の特性について考察できる。 一番花と分岐点について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ナスの生産について興味関心を高める。	・指導事項 科名、栽培上の特性、経営上の特性 栽培管理、病害虫防除 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ナスの特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ナスの特性、利用目的を自ら考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ナス生産について興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	アブラナ科・キク科・ユリ科・サトイモ科の栽培 （播種、定植、鉢上げ等） ハクサイ・カリフラワー・ブロッコリー 【知識及び技能】 移植栽培について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 移植栽培の特徴について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜生産について興味関心を高める。	・指導事項 野菜の品質管理、種類の特性 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 移植栽培の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 移植栽培の特徴、生産方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜の栽培について興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	23
2 学 期	定期考査			○	○		1
	ユリ科の栽培 ナガネギ 【知識及び技能】 ナガネギの栽培について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ナガネギの特徴について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 野菜生産について興味関心を高める。	・指導事項 野菜の品質管理、種類の特性 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ナガネギ栽培の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 ナガネギの特徴、生産方法を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 野菜の栽培について興味を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	15
	合計						59

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 草花応用

教科：農業 科目：草花応用 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 1組～2組

教科担当者：（1組：八木）（2組：八木）

使用教科書：（草花（実教出版））

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の復興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 草花応用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	草花の生産に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。草花の生育状況に応じた栽培管理の時期や適切な管理を行ない、高品質な草花を生産することができる。	草花の生産と経営について品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【知識及び技能】 ・鉢ものの栽培の歴史を学ぶ。・鉢ものの栽培管理の特色を理解する。・鉢ものの生産に必要な環境について理解する。・思考力、判断力、表現力等・鉢ものの利用について考える。・【学びに向かう力、人間性等】・草花に興味関心を深める。	・指導事項 栽培管理の特色（かん水、ローリングベンチ） 生産資材（鉢・用土・肥料の種類） 鉢物の用途 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 栽培管理の特色、生産資材、わい化技術を理解している。 【思考・判断・表現】 鉢ものが様々な場面で利用され、様々な用途があることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 草花を学ぶことに関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	3
	花鉢ものの栽培と管理 花鉢ものの栽培（シクラメン） 【知識及び技能】 ・種や花芽の形成過程について理解し、鉢替えを適切に実施できる。・寒風の目的、方法を理解し正しく実施できる。病害虫の発生について理解し、適切に予防や初期防除ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・種や花芽を管理し、適切な栽培管理、肥培管理の方法を考える。特に、生育状況を観察する。観察しレポートに記録する。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 花鉢ものの栽培（シクラメン） 鉢替え、寒風、追肥、病害虫防除、開花習性、 花がら摘み ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 シクラメンの特性や栽培管理に関する知識を身に付け栽培管理が適切に実施できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理について考察し、栽培に関する基礎的な知識・技術を活用して、生育段階に応じた適切な処置をとることができる。栽培状況をレポートに適切に記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に栽培に取り組み、定期的・継続的に調査・観察・記録する意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	9
	ラン類の栽培と管理 ラン類の栽培（シンビジウム） 【知識及び技能】 ・シンビジウムの栽培の歴史を学ぶ。・シンビジウムの品種の分類や名称について理解する。・年間の生育過程を学び、時期にあった適切な栽培管理を把握し正しく実施することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・シンビジウムのリードを見分け、芽かきをすることができる。・リードの発生状況を観察し、生育状況について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 ラン類の栽培（シンビジウム） バルブ、リード、バックバルブ、ステム、セパル、ペタル、コラム、リップ 成長期、休止期、資材、病害虫、芽かき、 リードの仕立て、葉芽、花芽、施肥、支柱立て ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 シンビジウムの特性や栽培管理に関する知識を身に付け栽培管理が適切に実施できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理について考察し、栽培に関する基礎的な知識・技術を活用して、生育段階に応じた適切な処置をとることができる。栽培状況をレポートに適切に記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に栽培に取り組み、定期的・継続的に調査・観察・記録する意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
2 学 期	花鉢ものの栽培と管理 花鉢ものの栽培（シクラメン） 【知識及び技能】 ・種や花芽の形成過程について理解し、鉢替えを適切に実施できる。・寒風の目的、方法を理解し正しく実施できる。病害虫の発生について理解し、適切に予防や初期防除ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・種や花芽を管理し、適切な栽培管理、肥培管理の方法を考える。特に、生育状況を観察する。観察しレポートに記録する。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 花鉢ものの栽培（シクラメン） 鉢替え、寒風、追肥、病害虫防除、開花習性、 花がら摘み ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 シクラメンの特性や栽培管理に関する知識を身に付け栽培管理が適切に実施できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理について考察し、栽培に関する基礎的な知識・技術を活用して、生育段階に応じた適切な処置をとることができる。栽培状況をレポートに適切に記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に栽培に取り組み、定期的・継続的に調査・観察・記録する意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	9
	花鉢ものの栽培と管理 花鉢ものの栽培（ポインセチア） 【知識及び技能】 ・種や花芽の形成過程について理解し、適切に栽培管理を実施することができる。・寒風の目的、方法を理解し正しく実施できる。病害虫の発生について理解し、適切に予防や初期防除ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・種や花芽を管理し、適切な栽培管理、肥培管理の方法を考える。特に、生育状況を観察する。観察しレポートに記録する。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 花鉢ものの栽培（ポインセチア） 花芽形成、開花調整、わい化剤、摘心、摘葉、短日処理、追肥、病害虫防除、苞葉 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 ポインセチアの特性や栽培管理に関する知識を身に付け栽培管理が適切に実施できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理について考察し、栽培に関する基礎的な知識・技術を活用して、生育段階に応じた適切な処置をとることができる。栽培状況をレポートに適切に記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に栽培に取り組み、定期的・継続的に調査・観察・記録する意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	8
	観葉植物の栽培と管理 観葉植物の栽培（フィカス類、サトイモ類など） 【知識及び技能】 ・種や花芽の形成過程について理解し、適切に栽培管理を実施することができる。・寒風の目的、方法を理解し正しく実施できる。病害虫の発生について理解し、適切に予防や初期防除ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・種や花芽を管理し、適切な栽培管理、肥培管理の方法を考える。特に、生育状況を観察する。観察しレポートに記録する。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 観葉植物の栽培（フィカス類、サトイモ類など） 栄養繁殖（挿し木、株分け、茎伏せ） ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 観葉植物の特性や栽培管理に関する知識を身に付け栽培管理が適切に実施できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理について考察し、栽培に関する基礎的な知識・技術を活用して、生育段階に応じた適切な処置をとることができる。栽培状況をレポートに適切に記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に栽培に取り組み、定期的・継続的に調査・観察・記録する意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	花鉢ものの栽培と管理 花鉢ものの栽培（シクラメン） 【知識及び技能】 ・種や花芽の形成過程について理解し、鉢替えを適切に実施できる。・寒風の目的、方法を理解し正しく実施できる。病害虫の発生について理解し、適切に予防や初期防除ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・種や花芽を管理し、適切な栽培管理、肥培管理の方法を考える。特に、生育状況を観察する。観察しレポートに記録する。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 花鉢ものの栽培（シクラメン） 鉢替え、寒風、追肥、病害虫防除、開花習性、 花がら摘み ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 シクラメンの特性や栽培管理に関する知識を身に付け栽培管理が適切に実施できる。 【思考・判断・表現】 栽培管理について考察し、栽培に関する基礎的な知識・技術を活用して、生育段階に応じた適切な処置をとることができる。栽培状況をレポートに適切に記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に栽培に取り組み、定期的・継続的に調査・観察・記録する意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	6
	草花生産と消費の動向 【知識及び技能】 ・草花の生産と消費の動向を知る。・草花の輸出入の動向を知る。・思考力、判断力、表現力等・草花の生産と消費の動向のデータを読み取る。・草花の生産と消費の動向のデータを読み取る。・草花の生産と消費の動向のデータを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 栽培に興味を持ち主体的に取り組む態度を養う。	・指導事項 草花生産と消費の動向 ・教材 教科書、ワークシート	【知識・技能】 草花生産と消費の動向について理解している。 【思考・判断・表現】 草花生産と消費の動向と課題に関する様々な資料や情報を収集し、活用している。 【主体的に学習に取り組む態度】 草花生産の現状や動向、課題に関心を持ち、主体的に学び探求しようとする意欲と態度を身に付けている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 造園施工管理

教科：農業

科目：造園施工管理

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 選択者12名

教科担当者：（片岡・常盤・田中（特別専門講師））

使用教科書：（文部科学省 造園施工管理

教科 農業

の目標：

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 造園施工管理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造園施工に関する実践的な知識、技術を習得する。庭園の施工や樹木の管理について、理解する。	造園施工に必要な思考・判断力を身に付ける。チームや道具を活用し、効率的な作業手順を考えるられるようになる。	造園施工へ意欲を持ち、社会へ貢献する姿勢を育む。また、集団で行う実習の中で、チームワークやリーダーシップを身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	マツのみどり摘み 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。・マツの部位など名称がわかる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・その後の生育をイメージしながら、摘む場所を判断できている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園樹木、庭園の管理に興味関心を深める。	・指導事項 マツの栽培と管理 ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できている。・マツの部位などの名称がわかっている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・その後の生育をイメージしながら、摘む場所を判断できている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園樹木、庭園の管理に興味関心を深められている。	○	○	○	8
	花壇のデザインと植栽 【知識及び技能】 ・色の持つ特性や配色による効果を理解できる。・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・配色の効果を考えながらデザインをすることができる。・全体の様子を観察し、効率よく行動することができる。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して花苗の利用や緑化に興味関心を深める。	・指導事項 花壇のデザイン 花壇用草花について ・教材 ワークシート	【知識及び技能】 ・色の持つ特性や配色による効果を理解できている。・植物などの名称が判断できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・配色の効果を考えながらデザインをすることができる。・全体の様子を観察し、効率よく行動することができる。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して花苗の利用や緑化に興味関心を深められている。	○	○	○	8
	コンクリートの打設 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。・コンクリートの特性や配合を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コンクリートの打設に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して土木施工に興味関心を深める。	・指導事項 コンクリートの特性 ・教材 ワークシート 教科書	【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できている。・コンクリートの特性や配合を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・コンクリートの打設に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して土木施工に興味関心を深められている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	竹垣の種類と施工 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。・竹垣の構造を理解できる。・正しく結束することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・施工に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園施工に興味関心を深める。	・指導事項 竹垣の種類と施工 ・教材 ワークシート 教科書	【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できている。・竹垣の構造を理解できている。・正しく結束することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・施工に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園施工に興味関心を深められている。	○	○	○	8
	樹木支柱について 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。・支柱の種類や構造を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・施工に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園樹木に興味関心を深める。	・指導事項 樹木支柱の周囲と施工 ・教材 ワークシート 教科書	【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できている。・支柱の種類や構造を理解できている。・正しく組み立て、結束できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・施工に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園樹木に興味関心を深められている。	○	○	○	8
	中高木の剪定 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。・植物などの名称が判断できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・剪定に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園樹木に興味関心を深める。	・指導事項 剪定の方法 ・教材 ワークシート 教科書	【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できている。・植物などの名称が判断できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・剪定に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して造園樹木に興味関心を深められている。	○	○	○	8

定期考査			○	○		1
石の種類と延段の施工 【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できる。・石の種類や用途を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・施工に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して石材へ興味関心を深める。	・指導事項 石の種類と施工 ・教材 ワークシート 教科書	【知識及び技能】 ・道具や資材などが適切に使用できている。・石の種類や用途を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・施工に必要な思考・判断ができている。・レポートに実習内容がまとめられている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実習を通して石材へ興味関心を深められている。	○	○	○	3
						合計
定期考査			○	○		53

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 生物活用

教科: 農業

科目: 生物活用

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 4 組

教科担当者: (天野・片山)

使用教科書: (生物活用)

教科 農業

の目標:

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指してみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生物活用

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物活用について、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	生物活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	生物活用について、生物の特性を活用し生活の質の向上につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生物活用の意義と役割 園芸作物の栽培と活用 動物の飼育と活用 生物活用の実践	・ガイダンス「生物活用の意義と役割」 (以下、の内容を2講座で実施) ・上千葉砂原公園での樹木調査・植生調査① 校内「植物・園芸と人間生活」 「動物と人間生活」 ・公園: 小動物について① 校内「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・公園: 小動物について② 校内「交流活動の心がまえ」 ・農場ガイド 校内「交流活動の実際」 「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・西洋庭園ガイド 校内「交流活動の実際」 「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・国立環境研究所 市民調査員と連携した生物季節モニタリング	園芸作物や社会動物の活用の重要性や、活用がもたらす人間への効用について興味・関心をもち、基礎的な知識を身につけ、人間と生物との関係性について探究しようとしている。 ワークシート 【思】【態】 授業態度 【知】【思】【態】	○	○	○	26
	まとめ・定期考査			○	○	○	2
2 学期	生物活用の意義と役割 園芸作物の栽培と活用 動物の飼育と活用 生物活用の実践	・ガイダンス「生物活用とプロジェクト学習」 (以下の内容を2講座で実施) ・公園: 上千葉砂原公園での樹木調査・植生調査② 校内「草花の栽培と活用」「ウマの飼育と活用」 ・公園: ポニーの飼育 校内「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・公園: プタの飼育 校内「草花の栽培と活用」 ・公園: ヤギの飼育 校内「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・農場ガイド 校内「交流活動の実際」 「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・西洋庭園ガイド 校内「交流活動の実際」 「野菜・ハーブの栽培と活用」 ・国立環境研究所 市民調査員と連携した生物季節モニタリング まとめ・定期考査	園芸作物や社会動物の活用の重要性や、活用がもたらす人間への効用について興味・関心をもち、基礎的な知識を身につけ、人間と生物との関係性について探究しようとしている。 ワークシート 【思】【態】 授業態度 【知】【思】【態】	○	○	○	28
	まとめ・定期考査			○	○	○	2
3 学期	生物活用の意義と役割 園芸作物の栽培と活用 動物の飼育と活用	ガイダンス「生物活用の実践」 (以下の内容を2講座で実施) ・公園: 上千葉砂原公園での樹木調査・植生調査③ 校内「草花の栽培と活用」 ・公園: 上千葉砂原公園で、観察と活動のまとめ 校内: 農場の片付け まとめ・定期考査	園芸作物や社会動物の活用の重要性や、活用がもたらす人間への効用について興味・関心をもち、基礎的な知識を身につけ、人間と生物との関係性について探究しようとしている。 ワークシート 【思】【態】 授業態度 【知】【思】【態】	○	○	○	10
	まとめ・定期考査			○	○	○	2
							合計
							70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 地域資源活用

教科: 農業 科目: 地域資源活用 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 1組～ 4組

教科担当者: (1組: 片岡・片山) (2組: 片岡・山下)

使用教科書: (地域資源活用)

教科 農業 の目標:

【知識及び技術】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指してみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 地域資源活用 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 地域資源活用とは 1節 地域資源とその活用 2節 地域資源活用とプロジェクト学習	○課題意識をもって学習に臨み、「農業と環境」で習得したプロジェクト学習の方法をふまえ、地域資源活用に関するプロジェクト学習の意義と役割について明確に位置づけ、プロジェクト学習を活用した学習展開を行う。 上千葉砂原公園との連携【樹木調査・鉢花の寄せ植えづくり・リリープロジェクト】	○地域資源活用に関するプロジェクト学習について理解するとともに、関連する技術を身につけている。 ○地域資源活用に関するプロジェクト学習に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。 ○地域資源活用に関するプロジェクト学習についてみずから学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	26
	まとめ・定期考査			○	○	○	2
2 学期	第3章 地域資源活用の意義と役割 1節 地域資源の魅力と価値 2節 地域振興に向けた施策と取組 3節 異業種連携と商品価値の創造 4節 地域資源活用の実践と課題 5節 情報の活用と発信	○農業林業の特徴を知り、その魅力を理解させる。 ○アグリビジネスなどをとり入れた新たな魅力を理解させる。 ○身近な地域を調査して、地域資源を発掘し、資源の磨き方について理解させる。 ○自然と共生する自然観や伝統文化などからはぐくまれるアイデンティティと愛着について理解する。 ○社会的起業家について理解させる。 ○ワークショップの方法について理解させる。 ○人々の連携や役割分担の重要性など、地域資源を活用する活動の進め方を理解させる。 ○対人サービスのマナーについて理解させる。 ○安全管理について理解させる。 竹細工の製作・農産祭準備・上千葉砂原公園との連携	○自然と共生する自然観や伝統文化などから思考を深め、アイデンティティと愛着を理解している。 ○地域づくりの重要性や地域づくりの流れを理解している。 ○地域コーディネータの役割と必要とされる知識・技術について理解している。 ○ワークショップに関する基礎的な技術を身につけ、活用している。 ○対人サービスのマナーの基本的な知識・技術について理解している。 ○安全管理の基本的な知識・技術について理解している。 ○農林業体験を実施するにあたり、基礎的な農業に関する技能を身につけている。	○	○	○	28
	まとめ・定期考査			○	○	○	2
3 学期	第6章 地域資源活用の実践 1節 地域資源活用の企画と実践	○プログラム実施の目的の立て方について理解させる。 ○プログラムの計画立案について理解させる。 ○実行にあたり、準備、内容確認、打合せ、実施、事後作業、振り返りなど、その手順を理解させる。 ○目的、企画、活動や運営などの評価、まとめが、次回以降に反映でき向上できることを理解させる。	○企画した地域資源を活用する手順に沿って実践する中で学んだことが生かされており、その技術を適切に活用している。 ○今までに学んだ農業の知識や技術を活用した企画を実施するため、明確な目的を立てることができる。 ○企画した地域資源活用の活動計画案を立て、基礎的な知識や技術を基に合理的に判断し、その過程を表現することができる。 ○自己評価や対象者からの評価などからプログラムを見直し次回以降に修正、向上することができる。 ○地域の特性に合わせ実践するプロジェクト学習活動を通して、起業の方法や6次産業化の意義についてみずから学び、自分の意志や判断に基づき、目標を共有する他者と力を合	○	○	○	10

		めせしと組もつとしている。				
まとめ・定期考査			○	○	○	2
						合計
						70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 農業 科目 フラワーデザイン

教科: 農業

科目: フラワーデザイン

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 2 組

教科担当者: (1・2組: 山崎【特別専門講師】・片山) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: ()

教科 農業

の目標:

【知識及び技術】農業に関する知識と技術を習得させる

【思考力、判断力、表現力等】農業の特性とその特質を理解させる。

【学びに向かう力、人間性等】農業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

科目 フラワーデザイン

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
園芸デザインに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わるものとして、知識と技術を身に付けさせる。	園芸デザインに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に関わるものとして、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	植物の特性を理解し、生活の質の向上につながるよう、自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 園芸デザインの基礎 ①草花の装飾的特性…装飾方法の実際 ②草花の形態的特性 ③国家検定 フラワー装飾技能検定(3級)	・指導事項 園芸デザインの技術体系に関する復習 草花の装飾方法の実際 草花の形態による分類と表現方法 ・教材 関連書籍、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 基礎的な専門用語を理解している 【思考・判断・表現】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでの学習内容(知識・技術)と関連付けて学ぶ姿勢が見られる	○	○	○	24
	B アレンジメントの基本Ⅰ	・指導事項(ギフトの花:母の日のアレンジメント・ブトニア:ツーフラワーズのブトニア・ドーム:テーブルの中央などに置く半球型・ユリのアレンジメント:公共空間での展示) ・教材 プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解し、具体的なデザインを制作できる 【思考・判断・表現】 フラワーデザインの活用実態について考えまとめることができ、作品の利用と実社会をつなげることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	15
	まとめ・定期考査			○	○	○	3
2 学 期	C アレンジメントの基本Ⅱ	・指導事項 園芸デザインの技術体系に関する学習 色彩の基礎・応用 切り花の調整:収穫方法・調整・保存方法 ・教材 関連書籍、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解し、具体的なデザインを制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 身につけた知識と技術を生かして表現力豊かな作品が制作できる 【学びに向かう力、人間性等】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	18
	D アレンジメントの基本Ⅱ	・指導事項 文化祭での販売品の製作:ドライフラワーの扱い方・作品作成 ボトルフラワー:プリザーブドフラワーのアレンジメント ・教材 関連書籍、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解し、具体的なデザインを制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 身につけた知識と技術を生かして表現力豊かな作品が制作できる 【学びに向かう力、人間性等】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1

3 学 期	E アレンジメントの基本Ⅱ	・指導事項 作品の評価：相互評価 作品の鑑賞方法：公共空間での展示 ・教材 関連書籍、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解し、具体的なデザインを制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 身につけた知識と技術を生かして表現力豊かな作品が制作できる 【学びに向かう力、人間性等】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	12
	まとめ・定期考査			○	○	○	2
	F アレンジメントの応用Ⅰ	・指導事項 卒業制作：公共空間での展示 ・教材 関連書籍、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を理解し、具体的なデザインを制作できる 【思考力、判断力、表現力等】 適切な専門用語を用いてレポートが作成できる 身につけた知識と技術を生かして表現力豊かな作品が制作できる 【学びに向かう力、人間性等】 良い作品を制作する意欲と態度が見られる	○	○	○	9
	J フラワー（園芸）デザインの活用	指導事項 年間を通して制作した作品のまとめ ・教材 関連書籍、プリント、レポート ・一人1台端末の活用 等	【知識・技術】 フラワーデザインの基礎的知識と技術を総括することができる 【思考・判断・表現】 フラワーデザインの活用実態について考えまとめることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 高校生活を通して得た学習内容とフラワーデザインとを関連付けてまとめる姿勢が見られる	○	○	○	6
	まとめ・定期考査			○	○	○	3
							合計
							105

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 農業 科目 課題研究

教科： 農業 科目： 課題研究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 3 組～ 4 組

教科担当者： （ 3・4組：大野浩 佐藤桃子 加藤誠 味岡結奈 工藤大志 佐藤駿樹 中島未香 今野翔太 ）

使用教科書： （ ）

教科 農業 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関係の産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 課題研究 の目標： 農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支える産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付ける	農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	実験・実験計画の確認 【知識及び技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心のある題材を設定する。	実験・実験計画の確認 ・オリエンテーション ・課題研究手引き ・年間研究計画 ・テーマ設定（担当教員との面談）	【知識・技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心のある題材を設定している。	○	○	○	6
	実験・実験の実践 【知識及び技能】 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心のある題材を設定する。	実験・実験の実践	【知識・技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心のある題材を設定している。	○	○	○	9
	中間報告書	中間報告書の作成	【知識・技能】 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。	○	○		6

1学期のまとめ 【知識及び技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考する。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心のある題材を設定する。	1学期のまとめ	【知識・技能】 自らの課題解決に必要な基礎知識を身に付け理解している。 設定した課題解決のために必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータから思考することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心のある題材を設定している。	○	○	○	8
実験・実習の実践 【知識・技能】 課題解決に必要な知識・技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組む。	実験・実習の実践	【知識・技能】 新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。 新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	7
2学期 発表パネルの作成・研究報告書の作成・2学期のまとめ 【知識・技能】 新たな課題を発見し、解決するための知識・技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組んでいる。	発表パネルの作成・研究報告書の作成・2学期のまとめ	【知識・技能】 新たな疑問に直面したときに、その状態を理解し、解決に必要な知識を持っている。 新たな課題に直面したときに必要な製造技術、実験手技などを身につけている。 【思考・判断・表現】 自ら設定した題材に関する課題について、実験・実習でデータを積み重ね、効果的にまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決にむけ、意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	24
研究報告書の完成 口頭発表 【知識・技能】 発表に必要な知識を身に着け理解する。 【思考・判断・表現】 聞き手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できるよう、成果をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組む。	研究報告書の完成 口頭発表	【知識・技能】 発表に必要な知識を身に着け理解している。 効果的な発表に必要なPC操作ができる。 【思考・判断・表現】 聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組む。	○	○	○	9
3学期 1年間のまとめ 【知識・技能】 効果的な発表に必要なICT利用ができる。 【思考・判断・表現】 聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組む。	1年間のまとめ	【知識・技能】 発表に必要な知識を身に着け理解している。 効果的な発表に必要なPC操作ができる。 【思考・判断・表現】 聞き手、読み手に伝わりやすく、自分の研究成果を発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発表に向け意欲的に取り組む。	○	○	○	2
合計						71

年間授業計画 様式例

都立農産 高等学校 令和6年度(3学年用) 教科

農業

科目 総合実習(α)

教科: 農業

科目: 総合実習(α)

単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 3 組～ 4 組

教科担当者: 味岡結奈 今野翔太 大野浩 大野志津子 野口圭介

使用教科書:

教科 農業

の目標:

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】食品に関する基礎・基本を身に付け、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を:

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 総合実習(α)

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業に関する情報について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	食品に関する基礎・基本を身に付け、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	・オリエンテーション (3つの分野をローテーションで学習する。) *園芸加工： ・マーマレードの大量生産実習 *製菓加工： ・シフォンケーキの製造実習 *基礎実験： ・ソックスレー法による食品中の脂質の定量 実験	各食品の製造の意義、理論とその実際、器 具・機械の操作方法、およびその品質管理と衛 生管理について 各分析法における実験の理論と方法、その 意義と安全管理、実験器具・機器・試薬の扱い 方について	【知識・技能】 生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテスト により評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンstrーションを見て適 切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいる か。	○	○		15	
	・(3つの分野をローテーションで学習する。) *園芸加工： ・パイナップル缶詰の製造実習 *製菓加工： ・バウンドケーキの製造実習 *基礎実験： ・ソモギー変法による食品中の還元糖の定量 実験	各食品の製造の意義、理論とその実際、器 具・機械の操作方法、およびその品質管理と衛 生管理について 各分析法における実験の理論と方法、その 意義と安全管理、実験器具・機器・試薬の扱い 方について	【知識・技能】 生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテスト により評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンstrーションを見て適 切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいる か。	○	○	○	13	
	期末テスト				○	○		2
2 学期	・(3つの分野をローテーションで学習する) *園芸加工： ・リンゴジャムの大量生産実習 ・ケチャップの製造実習 *製菓加工： ・中種法による角食パンの製造実習 ・デコレーションケーキの製造実習 *基礎実験： ・ケルダール法（バルナス・ワグナー法）に よる食品中のタンパク質の定量実験	各食品の製造の意義、理論とその実際、器 具・機械の操作方法、およびその品質管理と衛 生管理について 各分析法における実験の理論と方法、その 意義と安全管理、実験器具・機器・試薬の扱い 方について	【知識・技能】 生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテスト により評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンstrーションを見て適 切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいる か。	○	○	○	12	
	・(3つの分野をローテーションで学習する。) *園芸加工： ・ケチャップの製造実習 *製菓加工： ・デコレーションケーキの製造実習 *基礎実験： ・ケルダール法（バルナス・ワグナー法）に よる食品中のタンパク質の定量実験	各食品の製造の意義、理論とその実際、器 具・機械の操作方法、およびその品質管理と衛 生管理について 各分析法における実験の理論と方法、その 意義と安全管理、実験器具・機器・試薬の扱い 方について	【知識・技能】 生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテスト により評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンstrーションを見て適 切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に学ぶ意欲をもって実習に臨んでいる か。	○	○	○	19	
	期末テスト				○	○		2
3 学期	・(3つの分野をローテーションで学習する。) *園芸加工： ・ケチャップの製造実習 *製菓加工： ・デコレーションケーキの製造実習 *基礎実験： ・ケルダール法（バルナス・ワグナー法）に よる食品中のタンパク質の定量実験	各食品の製造の意義、理論とその実際、器 具・機械の操作方法、およびその品質管理と衛 生管理について 各分析法における実験の理論と方法、その 意義と安全管理、実験器具・機器・試薬の扱い 方について	【知識・技能】 生産品、実験、販売に関する知識についての理解度をテスト により評価する。 【思考・判断・表現】 製造・実験・販売の工程や、教員のデモンstrーションを見て適 切に取り組めるか。またレポートを正確に作成できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら行動し、積極的に	○	○		7	
	期末テスト				○	○		1
								合計 71

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	第7章 無機質・ビタミン 【知識及び技能】 無機質・ビタミンについて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 無機質・ビタミンに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 無機質・ビタミンについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 無機質とは 2 食品の加工と無機質的作用 3 ビタミンとその安定性 4 食品の加工とビタミン ・教材：準教科書、食品成分表	【知識・技能】 無機質・ビタミンについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 無機質・ビタミンに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 無機質・ビタミンについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	第8章 食品の栄養とその評価 【知識及び技能】 食品の栄養とその評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の栄養とその評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の栄養とその評価について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 食品の消化と吸収 2 消化酵素 3 栄養素の消化と吸収 4 食品の消化・吸収率 5 私たちのからだで栄養のかかわり 6 おもな栄養素の相互関係 7 三大栄養素の代謝 8 微量栄養素の働き ・教材：準教科書、食品成分表	【知識・技能】 食品の栄養とその評価について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品の栄養とその評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の栄養とその評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
	定期考査（期末テスト）				○	○	
2 学 期	第9章 微量成分 【知識及び技能】 微量成分について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 微量成分に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 微量成分について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 色素成分 2 香気成分 3 呈味成分 ・教材：準教科書、食品成分表	【知識・技能】 微量成分について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微量成分に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 微量成分について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第10章 食品の成分分析 【知識及び技能】 食品の成分分析について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の成分分析に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の成分分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むこと。	1 食品の成分分析の意義 2 試料の採取・調整・保存 3 水分 4 タンパク質 5 脂質 6 炭水化物 7 無機質 8 ビタミン ・教材：準教科書、食品成分表	【知識・技能】 食品の成分分析について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品の成分分析に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の成分分析について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	第8章 食品の栄養とその評価 【知識及び技能】 食品の栄養とその評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の栄養とその評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の栄養とその評価について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	9 現代社会の食生活栄養の問題点 10 保健機能食品 11 食品の栄養的価値 12 三大栄養素の栄養的価値 13 食品の分類 ・教材：準教科書、食品成分表	【知識・技能】 食品の栄養とその評価について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品の栄養とその評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の栄養とその評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査（期末テスト）			○	○		1
3 学 期	第8章 食品の栄養とその評価 【知識及び技能】 食品の栄養とその評価について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 食品の栄養とその評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決すること。 【学びに向かう力、人間性等】 食品の栄養とその評価について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組むこと。	14植物性食品 15動物性食品 16加工食品 ・教材：準教科書、食品成分表	【知識・技能】 食品の栄養とその評価について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食品の栄養とその評価に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食品の栄養とその評価について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	定期考査（期末テスト）			○	○		1
							合計
							35

高等学校 令和6年度 教科

農業

科目 食品微生物

教科：農業

科目：食品微生物

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 3組～4組

教科担当：(3組：加藤幸弘 (3組：佐藤駿樹) (4組：加藤幸弘) (4組：佐藤桃子) (組：) (組：)

使用教科書：(食品微生物(実務教育出版)(準教科書))

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業や農業関係の目標：通産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 食品微生物 目標：農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品微生物の利用に必要な資質・能力を育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食品微生物について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品微生物に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品微生物について特質を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第3章 微生物の代謝と酵素 【知識及び技能】 糖の代謝、エネルギー獲得などの微生物の代謝の基本的知識を学び、発酵について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アルコール生産菌やアルコール発酵、乳酸菌・酢酸菌・クエン酸発酵などの有機酸発酵、アミノ酸生産菌やアミノ酸発酵について考察できる	1 微生物の代謝とその利用 1) 微生物の代謝 2) アルコール発酵 3) 有機酸発酵 4) アミノ酸発酵	【知識・技能】 微生物の代謝と酵素について理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 微生物の代謝と酵素に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決している。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物の代謝と酵素について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
第8章 微生物利用の発展 1 微生物の改良による物質生産 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 微生物利用の動向について、バイオテクノロジーなど現代科学の進歩の視点から捉え、自ら学び取り組むことができる 【学びに向かう力、人間性等】	1 微生物改良の必要性 2 突然変異株による生産 3 細胞融合法による生産 4 遺伝子操作による生産 2 微生物によるバイオマスの有効利用 1 バイオマスとは 2 バイオマスの利用システム 3 固定化生体触媒を利用した物質生産 1 固定化生体触媒、バイオリアクターとは 2 固定化生体触媒、バイオリアクターの利用例 4 地球環境保全における微生物の利用 1 バイオレメディエーション 2 バイオプリベンション	【知識・技能】 バイオマスについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 バイオマスについて理解し、バイオマスの利用システムについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物改良の必要性やバイオマスについて主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
第5章 かびの分離と培養	1 クエン酸生産かびの分離と培養 1 分離 2 観察 3 生産物の確認 2 酵素生産かびの分離と培養 1 分離 2 観察 3 生産物の確認 3 このこの栽培 1 シイタケの原木栽培 2 ヒラタケのびん栽培	【知識・技能】 バイオマスについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 バイオマスについて理解し、バイオマスの利用システムについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物改良の必要性やバイオマスについて主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	8
第6章 酵母の分離と培養	1 アルコール生産酵母の分離と培養 1 分離 2 観察 3 生産物の確認 2 酵母の同定 1 同定の目的と方法 2 分離 3 形態の観察 4 生理的試験	【知識・技能】 バイオマスについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 バイオマスについて理解し、バイオマスの利用システムについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物改良の必要性やバイオマスについて主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
第7章 細菌の分離と培養	1 納豆菌の分離と培養 1 分離 2 観察 3 生産物の確認 2 乳酸菌の分離と培養 1 分離 2 観察 3 生産物の確認 3 酢酸菌の分離と培養 1 分離 2 観察および生産物の確認	【知識・技能】 バイオマスについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 バイオマスについて理解し、バイオマスの利用システムについて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 微生物改良の必要性やバイオマスについて主体的に学ぼうとしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1
			○	○		合計 40